

平成29年度

栗東市防災総合訓練

実施要綱(案)



身につけよう
地域ぐるみの防災行動

<日時> 平成29年8月27日(日)

午前7:00~11:15

<場所> 治田東小学校区一帯

<主催> 栗東市防災会議

訓練実施概要

1 目 的

災害対策基本法及び栗東市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が相互に連携し、各種の防災訓練を総合的に実施し、有事に際して即応できる体制を確立するとともに、防災に関する意識の高揚と知識の向上を図ることを目的とする。

2 日 時

平成29年8月27日（日） 7時00分から11時15分

3 会 場

治田東小学校区一帯

4 主 催

栗東市防災会議

5 参加予定団体、機関等（順不同）

【治田東小学校区の住民の皆さん】

- ・下戸山自治会／下戸山親交自治会／下戸山グリーンハイツ自治会／リバティーヒル下戸山自治会／きららの杜自治会／川辺県営住宅自治会／灰塚自治会／平葉自治会／川辺グリーンタウン自治会／安養寺東自治会／安養寺西自治会／安養寺南区自治会／安養寺北区自治会／安養寺団地自治会／安養寺一区自治会／安養寺レークヒル自治会

【協力団体】 （調整中）

- ・すまいる湖南
- ・栗東市社会福祉協議会
- ・栗東市赤十字奉仕団
- ・日本赤十字社滋賀県支部

《訓練項目》

- 家具転倒防止講習指導
- HUG 訓練、防災ボランティアセンター設立訓練
- 応急炊飯訓練
- 避難所巡回診療訓練

【災害時応援協定締結団体】 （調整中）

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| ・愛知県知立市 | 災害時応援協定による訓練への参加 |
| ・(社)滋賀県 LP ガス協会草津支部 | 防災物資等展示（LPガスによる発電機、浄水器等） |
| ・栗東市上下水道工事協同組合 | 仮設給水管配管、防災物資等展示 |
| ・栗東建設工業会 | 水防工法指導 |
| ・滋賀県電気工事工業組合湖南支部 | 防災物資等展示（発電機、太陽光パネル等） |
| ・(株)湖光ファイン アクアクララびわこ | 防災物資等展示（ウォーターサーバー） |
| ・レンゴー(株)滋賀工場 | 防災物資等展示(簡易タンポールベット、間仕切り) |
| ・エネロハス(株) | 防災物資等展示（非常用電源カー） |
| ・積水化学工業(株)滋賀栗東工場 | 防災物資等展示(災害用トイレ等)、ポリエチレン管耐震実験車 |
| ・渡辺パイプ(株) | 防災物資等展示（仮設応急給水管等） |

【参加防災機関】

・栗東市消防団／湖南広域消防局中消防署／栗東市議会／栗東市

6 訓練組織

(1) 訓練本部

本部長 栗東市長

副本部長 副市長、教育長

総指揮者 危機管理監

本部員 議会事務局長／市民政策部政策監／総務部長／福祉部長／子ども・健康部長／
環境経済部長／建設部長／建設部技監／教育部長／中消防署長／栗東市消防団長

本部付 草津警察署長／栗東市社会福祉協議会長／危機管理課長

(2) 訓練調整本部

本部長 危機管理監

連絡調整 危機管理課長

本部付 栗東市消防団副団長／中消防署副署長／災害対策本部事務局員／情報班員／
治田東対策支部員

7 閉会式

① 主催者挨拶

② 来賓挨拶

はじめに

昨年 4 月に熊本地方を中心に発生した地震では、国内で初めて震度 7 を連続して記録するなど内陸直下型地震としては経験をしたことのない規模での地震となり、熊本地方を中心に大きな被害と想定を超える避難者対応など防災対策に多くの課題を提起しました。

一方、地震は、インパクトはあるものの被害を受ける確率は比較的少なく、日本人が平均して被害を受けるのは水害で、過去 10 年間で全国の自治体の 9 割が水害を経験しているとの統計もあり、平成 25 年 9 月本市において発生した安養寺山土砂災害等は記憶に新しいところで、その後も毎年のように全国のどこかで大規模な土砂災害や水害が発生しています。

自然災害はいつ起こるか分かりません。災害がいつ起きても適切に対処できるように、より実践的な防災訓練が必要とされています。

防災訓練を行うことによって、市民の皆さん自らの自助、地域の方々で行う共助、市役所・消防・警察等が担う公助、それぞれが役割を果たし、かつ連携を図ることで地域の防災力を向上していかなければなりません。

今回の訓練は、琵琶湖西岸断層帯を震源とする大規模地震が発生し、南部地域で震度 7 を観測し、建物の倒壊、液状化の発生、ガス・水道・電気・電話等のライフライン施設、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者が発生した。また折からの大雨で河川は増水しており、一部地域では氾濫が生じている。という想定のもと、市民の皆さんと各防災機関が連携しながら発災から 3 時間を想定した初動訓練（情報伝達、避難待避、安否確認、避難所の開設・受け入れが進むまでの訓練、倒壊した家屋からの救出救助・救護等の自主防災組織災害対応訓練、AED を活用した救急訓練）のほか、土砂災害防止活動（水防工法）、避難所運営訓練（HUG）、水害災害図上訓練（R-DIG）、応急炊飯訓練など市民の皆さんが主役で、なおかつ実践的で役に立つ学習体験型訓練を実施します。

防災訓練想定

平成 29 年 8 月 27 日（日）

午前 7 時 00 分琵琶湖西岸断層帯を震源とする大規模地震が発生した。南部地域で最大震度 7 を観測し、市内の震度は、おおむね震度 6 弱で市北部地域等では一部震度 6 強の非常に強い揺れを観測し、多数の家屋が倒壊や全半壊し、ガス、水道、電気、電話等のライフライン施設また鉄道、道路、橋梁等にも被害は及び、多数の死者・負傷者が発生するなどの甚大な被害に見舞われるとともに多数の住民が避難を余儀なくされた。

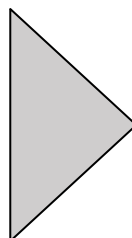
また折からの局所大雨による河川の増水により市内の一部河川に氾濫が生じ、土砂災害の危険性も高まってきた。

このような状況下、市では直ちに現地対策本部として災害対策支部を設置し、災害情報の収集、各関係機関と連携し、負傷者の救出救護、ライフラインの復旧等に努めるとともに市内各小学校に避難所を開設した。

訓練概要

◇訓練のねらい◇

- ・リスクや対応の「知識」を得る
- ・具体的な対応の行動を「体得」する
- ・様々な組織間で対応を「連携」する
- ・用語の共通化と価値基準を「標準化」する



- ・住民主導型避難体制の構築
- ・市民防災行動マニュアルへの反映
- ・関係機関等との連携強化
- ・市民の防災に関する意識の高揚と知識の向上

訓練名（団体）	訓練内容
市災害対策本部運用訓練	・被害状況の把握 ・避難勧告等の伝達訓練
防災行動確認訓練	・地震／風水害等の災害が発生した場合、自治会（防災組織）が行う防災行動の確認訓練
シナリオレス訓練（地域）	・地域においてシナリオレス訓練
避難所開設準備訓練	・広域避難所開設に向けた準備訓練（受入まで） ・ペット同行避難者対策 ・機器取扱訓練（備品取扱・仮設トイレ設置）
協定事業所訓練	・災害時応援協定締結団体事業者による各訓練
避難所運営訓練	・避難所運営訓練（HUG）
水防訓練	・水防工法（土嚢工法／簡易土嚢工法）
水害図上訓練（R-DIG訓練）	・水害図上訓練（R-DIG）
自主防災組織災害対応訓練	・倒壊家屋からの救出救助訓練 ・応急救護所訓練
救急訓練（AED）	・AEDを使用した救急訓練
応急炊飯訓練／非常食配布訓練	・災害時救援用炊飯袋を使った応急炊飯訓練 ・非常食配布訓練
地震体験	・起震車による地震体験訓練
家具転倒防止講習	・家具転倒防止講習
一斉防災行動訓練	・地震緊急速報による一斉防災行動訓練
防災ボランティアセンター開設訓練	・防災ボランティアセンターの開設～運用の初動連携訓練
避難所巡回診療訓練	・避難所での巡回診療の訓練
シナリオレス訓練（広域避難所）	・広域避難所におけるシナリオレス訓練
防災物品等展示	・災害応援協定事業者による防災物品等の展示

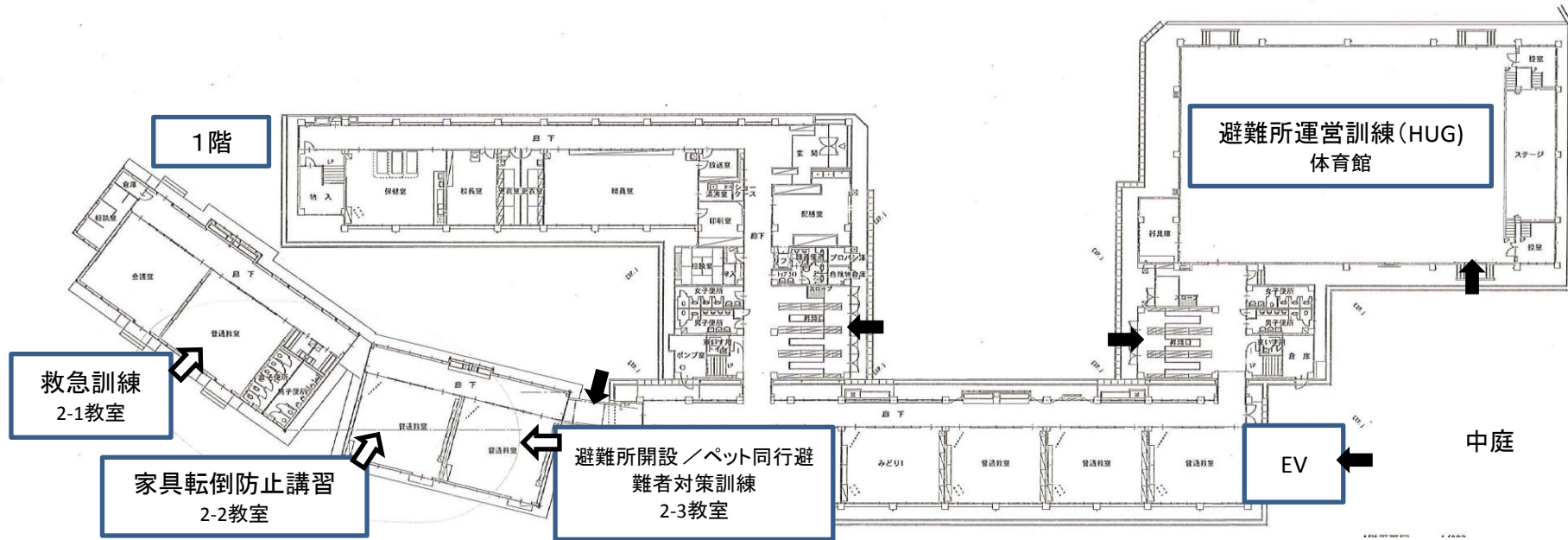
屋外訓練会場配置図



屋内訓練会場配置図



治田東小学校



閉会式整列図

本部テント

